

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点 検 ・ 評 価 報 告 書
(令和4年度実績)

匝瑳市教育委員会

目 次

教育委員会関係

1	教育委員会会議	1
2	学校訪問	3
3	匝瑳市総合教育会議	3

事務局関係

1	就学指導	3
2	児童・生徒健康診査・食生活指導事業	3
3	外国青年招致事業	4
4	サタデースクール事業	4
5	スクールカウンセラー設置事業	4
6	心の教室相談員活用事業	4
7	子どもサポート事業	4
8	スクールソーシャルワーカー設置事業	4
9	いじめ・不登校の状況	4
10	補助教員配置事業	5
11	外国語活動推進事業	5
12	放課後児童クラブ育成事業	5
13	放課後子ども教室推進事業	6
14	育英資金貸付事業	6

学校管理関係

1	小・中学校施設維持管理業務	7
2	小・中学校施設整備事業	7
3	スクールバス運行事業	7
4	遠距離通学費補助事業	7

学校教育振興関係

1	就学援助	8
2	就学奨励	8
3	児童・生徒教育活動	8
4	I C T環境整備事業	8
5	公衆無線L A N環境整備事業	8
6	校務支援システム活用事業	9
7	特色ある学校づくり推進事業補助金	9

幼稚園関係

1	幼稚園管理業務	9
2	特色ある教育の推進	9
3	運営改善	9
4	八日市場幼稚園とのさか幼稚園の統合	9

その他

1	新型コロナウイルス感染症対策	10
---	----------------	----

目 次

給食関係

1	学校給食の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11
2	学校訪問の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3	施設維持管理業務・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4	学校給食センター調理業務委託・・・・・・・・	11

社会教育関係

1	社会教育団体育成事業・・・・・・・・・・・・	13
2	ふるさと自然散策道管理事業・・・・・・・・	13
3	フロンティア学寮事業・・・・・・・・・・・・	13
4	二十歳のつどいの開催・・・・・・・・・・・・	14
5	文化財保護活用事業・・・・・・・・・・・・	14
6	青少年体験活動推進事業・・・・・・・・・・・・	14
7	青少年健康推進事業・・・・・・・・・・・・	15
8	家庭教育力活性化支援事業・・・・・・・・・・	15
9	埋蔵文化財調査事業・・・・・・・・・・・・	15
10	生涯学習講座開催事業・・・・・・・・・・・・	16
11	匝瑳市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定	16
12	立正大学との包括連携協定の締結・・・・・・・・	16

社会教育施設関係

1	生涯学習センター管理業務・・・・・・・・・・	17
2	福祉センター管理業務・・・・・・・・・・・・	17

保健体育関係

1	スポーツ健康推進事業・・・・・・・・・・・・	18
2	体育関係団体運営補助事業・・・・・・・・・・	19

保健体育施設関係

1	市営体育施設の貸出業務及び維持管理業務	19
2	都市公園球場の貸出業務・・・・・・・・・・・・	20
3	八日市場ドームの貸出業務及び維持管理業務	20
4	ふれあいスポーツランドの貸出業務及び維持管理業務	20
5	パークゴルフそうさの貸出業務及び維持管理業務	20

図書館関係

1	入館者数及び利用状況・・・・・・・・・・・・	22
2	読書普及促進事業・・・・・・・・・・・・	23

公民館関係

1	公民館利用状況・・・・・・・・・・・・	24
2	市民ギャラリーの活用促進・・・・・・・・・・	24
3	高齢者教室（寿大学）開催事業・・・・・・・・	24
4	公民館講座開催事業・・・・・・・・・・・・	25
5	公民館まつり開催事業・・・・・・・・・・・・	26

教育委員会関係

1 教育委員会会議

(1) 会議の開催

定期的に教育委員会会議を開催し、教育委員会の事務事業や教育情勢の把握に努めるとともに、様々な教育課題について審議するなど、教育行政の推進・充実を図った。

	定例会	臨時会	書面決議	合計
回数	12	1	3	16

(2) 審議内容等

	開催日	議案番号	議案名
4月臨時会	4月1日	第1号	匝瑳市教育委員会委員の議席の指定について
4月定例会	4月22日	第1号	匝瑳市特別支援連携協議会委員の委嘱について
		第2号	匝瑳市特別支援連携協議会委員の任命について
		第3号	匝瑳市教育支援委員会委員の委嘱について
		第4号	匝瑳市教育支援委員会委員の任命について
		第5号	匝瑳市社会教育委員の委嘱について
		第6号	匝瑳市社会教育委員の委嘱について
		第7号	匝瑳市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について
		第8号	匝瑳市図書館協議会委員の委嘱について
		第9号	匝瑳市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		第10号	匝瑳市学校給食センター運営委員会委員の任命について
		第11号	令和4年度匝瑳市教育委員会基本方針について
		第12号	匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について
		第13号	匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について
		第14号	匝瑳市文化財審議会委員の委嘱について
		第15号	匝瑳市公民館運営審議会委員の委嘱について
5月定例会	5月24日	第1号	海匝探択地区協議会委員の選任について
		第2号	匝瑳市育英資金貸付の解除について
		第3号	匝瑳市育英資金返還猶予の承認について
		第4号	匝瑳市育英資金奨学生の選考について
		第5号	匝瑳市社会教育委員の委嘱について

	開催日	議案番号	議案名
6月定例会	6月22日	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号	匝瑳市文化財審議会委員の委嘱について 匝瑳市子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱について 匝瑳市子ども読書活動推進計画策定委員の任命について 匝瑳市スポーツ推進委員の委嘱について 匝瑳市育英資金貸付の解除について 匝瑳市市外小中学校等在籍者臨時給付金給付事業実施要綱の制定について
7月定例会	7月21日	第1号 第2号 第3号	令和5年度使用教科用図書の採択について 匝瑳市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 匝瑳市体育施設運営委員会委員の委嘱について
8月定例会	8月24日	第1号 第2号 第3号	匝瑳市立八日市場幼稚園とのさか幼稚園の統合について 匝瑳市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 匝瑳市社会教育委員の委嘱について
9月定例会	9月27日	第1号 第2号	匝瑳市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について 匝瑳市全国大会等出場助成金交付基準の一部改正について
10月定例会	10月24日	—	なし
11月定例会	11月21日	第1号	匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について
12月定例会	12月21日	—	なし
1月定例会	1月20日	第1号 第2号 第3号	匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく表彰者の決定について 令和5年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 匝瑳市教育支援委員会委員の委嘱について
1月書面	1月31日	第1号	匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について
2月定例会	2月24日	第1号 第2号	匝瑳市立中学校「9か年精勤賞」受賞者の選考について 匝瑳市医療的ケアの必要な児童生徒のための支援事業実施要領の制定について

	開催日	議案番号	議案名
3月定例会	3月23日	第1号	匝瑳市立幼稚園に勤務する職員の勤務時間に関する規則の制定について
		第2号	匝瑳市学校運営協議会規則の制定について
		第3号	匝瑳市地域部活動推進協議会規則の制定について
		第4号	匝瑳市医療的ケア指導医の委嘱について
		第5号	匝瑳市スポーツ推進委員の委嘱について
		第6号	匝瑳市指定文化財の指定について
		第7号	匝瑳市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定について
3月書面	3月29日	第1号	匝瑳市教育委員会における個人情報保護法等施行規則の制定について
3月書面	3月31日	第1号	匝瑳市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について

2 学校訪問

教育委員と事務局が全学級の授業を参観し、各校の現状を把握するとともに課題解決等のため校長等との情報交換を行い、教育活動を支援した。

月 日	場 所	月 日	場 所
5月24日	八日市場小学校	9月27日	豊栄小学校
10月24日	野栄中学校	11月21日	野田小学校
1月20日	八日市場幼稚園		

3 匝瑳市総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、市長と教育委員会が連携を図り、教育の課題やあるべき姿を共有し、教育行政のさらなる充実・発展に努めた。

開催日	議 題
11月25日	匝瑳市コミュニティ・スクールの導入について

事務局関係

1 就学指導

心身に障害のある児童・生徒に対し、適正な就学指導を行った。また、匝瑳市教育委員会の諮問により匝瑳市教育支援委員会を開催し、適正な就学及びこれに係る必要な事項について調査、審議を行った。

2 児童・生徒健康診査・食生活指導事業

児童・生徒の健やかな成長を図るため、小学校4年生及び中学校1年生を対象に、生活習慣病予防検診及び食生活指導を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は昨年度に引き続き休止となった。また、令和4年度からはこの事業を中止とし、養護教諭を中心に食生活指導を行うこととした。

3 外国青年招致事業

進展する国際化に対応するため、市内3中学校に外国語指導助手を1名ずつ配置し、外国語教育の充実を図った。また、幼稚園や小学校低学年の英語活動にも派遣し、国際理解や国際交流を深める活動に取り組んだ。

4 サタデースクール事業

教育課程時間外の土曜日に希望する児童を対象に、市内3会場において国語、算数等の学習支援を行い、土曜日の有効利用と基礎学力の定着、また学習意欲の向上に効果があった。

会 場	参加者数
八日市場公民館	40人
市民ふれあいセンター	20人
生涯学習センター	15人
計	75人 (対前年度比較 ▲1人)

5 スクールカウンセラー設置事業

児童・生徒、保護者や教員に対し助言や援助を行うため、スクールカウンセラーを延べ8人配置し、様々な悩みの解消や適応上の問題解決に努めた。

配置校等	八日市場小学校・野田小学校 八日市場第一中学校・八日市場第二中学校・野栄中学校 八日市場幼稚園・のさか幼稚園・教育委員会
------	--

6 心の教室相談員活用事業

各中学校に非常勤講師を配置し、教育相談のほか、いわゆる保健室登校や会議室登校の生徒の指導に当たり、心の健康保持に努めた。

7 子どもサポート事業

不登校児童・生徒へ支援を行う適応支援教室を運営することで、欠席児童・生徒の居場所を確保するとともに、不登校の解消や児童・生徒、保護者の心理的負担の軽減に努めた。

8 スクールソーシャルワーカー設置事業

児童・生徒及びその家庭が抱えるいじめ、不登校、貧困等の様々な問題に対し、教育、社会福祉等の知識を有する専門職による支援及び助言を行った。

9 いじめ・不登校の状況

(1) いじめについて

早期発見・早期対応に努め、関係機関との連携を図りつつ、問題を抱える児童・生徒一人ひとりに応じた指導・支援を行い、問題解決に努めた。

令和4年度いじめ認知件数	小学校	43件	(対前年度比較 +14件)
	中学校	10件	(対前年度比較 ▲10件)

(2) 不登校について

専門の相談員による相談窓口を設置するとともに、学校と連携し、保護者へアドバイスを行うなど、不登校児童・生徒数の減少に努めた。

不登校の中学校3年生（10人）については全員、進路先が決まり、次のステップに進むことができた。

不登校児童・生徒数	小学生	21人	(対前年度比較 +9人)
	中学生	39人	(対前年度比較 +9人)

<参考>

不登校は、年度間に連続または断続して30日以上欠席者の中で、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者」をいう。（ただし、「病气」や「経済的理由」による者を除く。）

10 補助教員配置事業

(1) 学習支援補助教員

特別な支援を要する園児・児童・生徒のいる幼稚園・学校へ市の会計年度任用職員を配置することにより、対象となる園児・児童・生徒への学習支援の充実を図った。

配置校	平和小学校・椿海小学校・八日市場小学校・豊栄小学校 須賀小学校・共興小学校・豊和小学校・栄小学校・野田小学校 八日市場第一中学校・八日市場第二中学校・野栄中学校
-----	--

(2) 複式学級解消補助教員

吉田小学校へ市の会計年度任用職員を配置し、複式学級の解消を図った。

11 外国語活動推進事業

小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語科の指導補助として市内全ての小学校に地域の英語に堪能な人材を市の会計年度任用職員として派遣することにより、児童が英語に慣れ親しみ、コミュニケーションへの意欲が高まった。

12 放課後児童クラブ育成事業

保護者の就労等により、放課後・土曜日・長期休業中に家庭において適切な保護を受けられない児童を対象として児童クラブを開設し、児童の生活の場を確保し、健全育成に効果があった。

(令和4年5月1日現在)

児童クラブ名	在籍者数	児童クラブ名	在籍者数
平和児童クラブ	61人	椿海第一児童クラブ	43人
八日市場児童クラブ	81人	椿海第二児童クラブ	39人
豊栄第一児童クラブ	30人	野田児童クラブ	69人
豊栄第二児童クラブ	27人	栄第一児童クラブ	28人
須賀児童クラブ	87人	栄第二児童クラブ	29人
共興児童クラブ	39人	計	533人 (対前年度比較 ▲22人)

13 放課後子ども教室推進事業

小学校施設を使用し、児童に安全かつ安心な活動場所を提供することで、様々な学びや体験活動を通して生きる力の育成を図った。

(令和4年5月1日現在)

教室名	在籍者数	教室名	在籍者数
豊和子ども教室	45人	吉田子ども教室	35人
八日市場子ども教室	48人	計	128人(対前年度比較 ±0人)

14 育英資金貸付事業

優秀な人材を育成することを目的に、経済的な理由により修学が困難な生徒・学生に対し、学資金の貸し付けを行った。

区 分		貸付金額	人 数
高等学校		月額 2万円以内	0人
高等専門学校	第1～第3学年	月額 2万円以内	0人
	第4・5学年	月額 3万円以内	0人
専修学校	高等課程	月額 2万円以内	0人
	専門課程	月額 3万円以内	1人
大学及び大学院		月額 3万円以内	18人
計			19人

教育委員会の評価

・外国青年招致事業については、昨年度と同じALT3名を同じ中学校に配置できたことで、各中学校の状況や生徒の実態に応じた指導・支援ができており、外国語教育の更なる充実に十分貢献している。

・スクールカウンセラーについては、県のスクールカウンセラーが小学校全校配置となっていることから、子どもたちの心理的ケアに対する早期対応が可能となっている。今後も市のスクールカウンセラーと連携して、一層の児童・生徒の様々な問題の解決に努めたい。

・いじめ認知件数は、小学校で増加し、中学校では減少している。小学校の増加については、学校生活がコロナ禍前に戻りつつあり、子ども同士の関わり合いが増えたことが要因の一つと考えられる。また、中学校においては、生徒が落ち着いて学校生活を過ごしている傾向にあることが件数の減少に結びついていると考えられる。今後も毎月のアンケート調査だけに頼らず日常の観察も十分に行い、いじめの早期発見・早期解決に努めるよう指導していく。

・不登校児童・生徒数の増加については、昨年度同様、コロナ等に関連して心身の不安を感じる児童生徒が増加したことが一つの要因として考えられる。一方、社会の変化や家庭環境等、子どもを取り巻く様々な環境の変化が不登校の要因となって複雑化している。学校のみならず、他の関係機関と連携を図り、新たな課題に対する対応力の強化を図りたい。また、小学校の増加が気になる場所であり、注意深く経過を見ていく。

・放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ育成事業では、今後も、利用希望に応えることができるよう、体制整備に努めたい。

・育英資金については、貸付人数が減少傾向にあるため、制度の周知をこれまで以上にを行い、必要とする学生への貸付が適切に行われるよう、より一層の活用促進に努めたい。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う育英資金の返還猶予も可能なので、併せて周知に努めたい。

学 校 管 理 関 係

1 小・中学校施設維持管理業務

- (1) 施設設備保守管理委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。
- (2) 学校警備委託業務を実施し、施設の安全確保に努めた。

2 小・中学校施設整備事業

豊和小学校屋内運動場外壁改修工事、豊和小学校電気設備改修工事、須賀小学校駐車場整備工事、椿海小学校外1校遊具撤去工事、八日市場小学校鶏小屋撤去工事、小学校・中学校消防設備改修工事、平和小学校プールろ過装置修繕工事、椿海小学校手摺設置工事、八日市場第一中学校特別支援教室空調設備設置工事、八日市場第二中学校音楽室空調設備設置工事等、学校施設の整備を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。

消防設備改修工事	平和小学校、椿海小学校、八日市場小学校、須賀小学校、共興小学校、吉田小学校、豊和小学校、八日市場第二中学校、野栄中学校
遊具撤去工事	椿海小学校、八日市場小学校
空調設備工事	八日市場第一中学校、八日市場第二中学校

※参考 主な整備遊具は、老朽化した丸太遊具、のぼり棒の撤去。

3 スクールバス運行事業

小学校の統合に伴いスクールバスを運行することにより、米倉・飯高・匝瑳地区の児童の八日市場小学校への通学手段を確保したほか、登下校時の安全確保に努めた。

4 遠距離通学費補助事業

中学校までの通学距離が片道4km以上となる自転車通学の1年生を対象に、自転車購入時に1人につき10,000円の補助を行い、各家庭の経済的負担の軽減に努めた。

該当生徒数 42人 (対前年度比較 ▲9人)	中学校名	該当生徒数
	八日市場第一中学校	15人
	八日市場第二中学校	20人
	野栄中学校	7人

教育委員会の評価	・市内小中学校キュービクル式高圧受電設備で、耐用年数を超過している学校の電気設備改修工事を計画的に進めており、令和4年度は豊和小学校の改修を行った。 ・日頃から遊具等の点検・整備及び改修を行うことにより、現状把握に努め、緊急性のあるものから順次修繕を実施していく。 ・遠距離通学費補助金については、保護者の負担軽減を図るため、申請内容の公平な審査を実施し、適切な対応ができた。
----------	--

学 校 教 育 振 興 関 係

1 就学援助

経済的に就学困難な児童・生徒に対し、就学援助費の給付により義務教育への就学援助に努めた。保護者の経済的負担の軽減と児童・生徒の円滑な就学に効果があった。

	小学生	中学生
(1) 学用品費等	1 7 4 人 (対前年度比較 ▲ 5 人)	1 0 0 人 (対前年度比較 + 1 4 人)
(2) 医療費	3 人 (対前年度比較 ▲ 3 人)	0 人 (対前年度比較 ± 0 人)
(3) 給食費	1 6 8 人 (対前年度比較 ▲ 1 人)	9 4 人 (対前年度比較 + 1 3 人)

2 就学奨励

特別支援学級在籍児童・生徒の保護者等に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給した。充実した教育を受けるための条件づくりに効果があった。

対象者数	小学生	中学生
	1 1 7 人 (対前年度比較 + 8 人)	5 3 人 (対前年度比較 + 6 人)
	計 1 7 0 人 (対前年度比較 + 1 4 人)	

3 児童・生徒教育活動

(1) 体力の向上、文化的資質向上のための各種行事

児童・生徒の心身の健康と学習に対する意欲向上を図るため、下記行事を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を縮小して実施したり、中止とした行事もあった。

開催日	行事名	場 所	備 考
5月19日	匝瑳市小学校体育大会	東総運動場	参加人数を絞り、時間を短縮して実施
11月12・13日	匝瑳市小中学校作品展覧会	のさかアリーナ	時間指定により来場者数を制限した
11月16日	匝瑳市小中学校音楽発表会	八日市場ドーム	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) キャリア教育の推進

小学校の職業見学と、中学校2年生を対象にした社会体験学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

キャリア・パスポートを活用し、将来の夢と学業を結びつけ、学習意欲を喚起できた。

(3) 地域教材の作成と活用

社会科副読本編集委員会で作成した副読本やワークテストを、小学校3年生・4年生の地域の学習に活用することで、児童の郷土への興味関心が高まり、郷土愛の育成につながった。

4 I C T環境整備事業

G I G Aスクール構想に基づき、児童生徒のパソコン学習のため、市内小中学校の一人一台パソコンや校内通信ネットワークの保守管理を行った。

5 公衆無線LAN環境整備事業

災害時に各学校が避難所となる際の通信手段の提供のため、市内小中学校、旧匝瑳小学校、千葉県立飯高特別支援学校の体育館等に整備した公衆無線LANの保守管理を行った。

6 校務支援システム活用事業

校務支援システムの運用により、出席簿・通知表・指導要録等を作成する上で、事務の効率化や正確性が図られ、教職員の業務多忙化の解消に効果があった。また、令和元年度からは学校保健業務の運用が開始されており、健康診断表や学校日誌の作成等、事務の効率化が進められている。

7 特色ある学校づくり推進事業補助金

補助金を交付することにより、地域の人材や資源の活用など、特色ある学校教育活動が推進できた。

教育委員会の 評価	・就学援助については、年々増加傾向にある。今後も経済的に就学困難な児童・生徒を支援する観点でも、現在の状況を的確にとらえ、予算要求をしていきたい。 ・各校、タブレットの活用を進めている。令和4年度よりICT支援員が各校を訪問しICTの使用が不得意な教員への操作方法等の指導、タブレット操作について支援補助を行い、児童の技能が高まっている。 ・校務支援システム活用事業では、「働き方改革」の観点から、常に現状を踏まえながら、学校が運用しやすいようシステムの改善を重ねており、今後の事務の効率化がさらに期待できる。 ・特色ある学校づくり推進事業では、各校の独自の取り組みを支援することにより、地域の持つ特色や資源を児童・生徒に気付かせるきっかけを作ることができた。
----------------------	---

幼稚園関係

1 幼稚園管理業務

- (1) 施設設備保守管理委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。
- (2) 幼稚園警備委託業務を実施し、施設の安全確保に努めた。

2 特色ある教育の推進

- (1) 未就学児・保育園（所）・小学校との交流
- (2) スクールカウンセラーによる教育支援
- (3) A L Tによる外国文化の触れ合い

3 運営改善

令和4年度から長期休業中（夏季休業、冬季休業）の預かり保育を八日市場幼稚園、のさか幼稚園で実施した。

4 八日市場幼稚園とのさか幼稚園の統合

のさか幼稚園の園児数の減少に伴い、庁内の事務改善委員会で検討を進め、地区説明会等を経て、匝瑳市議会令和4年9月定例会において、のさか幼稚園を廃園し、令和5年4月から八日市場幼稚園と統合する条例の一部改正案が可決された。

そ の 他

1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 市内の幼稚園及び小・中学校での共通理解・共通実践

校長・園長会議や臨時校長会で協議をし、共通理解が図れるよう教育委員会から通知を発送した。

4／6（水）「4月7日以降の教育活動等について」（通知）

5／30（月）「学校における児童・生徒等のマスク着用について」（通知）

8／25（木）臨時校長会（修学旅行、校外学習、9月1日からの教育活動について）

12／27（火）「1月1日以降の教育活動等について」（通知）

2／17（金）第7回校長会議（卒業式、入学式、5月8日以降の教育活動等について）

(2) 感染予防のための消耗品・備品の購入

消毒アルコール、ハンドソープ等

CO2測定器、空気清浄機

教育委員会の評価

・園児数の減少に伴い、のさか幼稚園を廃園し、令和5年4月から八日市場幼稚園と統合することになったが、今後更なる円滑な幼稚園運営と魅力ある幼稚園づくりに努める。

・スキルアップ研修等、スクールカウンセラーによる教育相談的な視点からの教育支援により、教職員の資質向上を図ることができた。

・幼稚園の保護者の要望に応えるために、令和4年度から長期休業中（夏季休業、冬季休業）の預かり保育を開始した。

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止については、原則、市内幼稚園及び小・中学校で共通理解を図り同一步調で対応できるようにした。

有識者の評価

・国や県では、学校運営協議会制度を導入したコミュニティ・スクールを全ての公立学校へ導入を進めているため、匝瑳市でも令和5年度から八日市場小学校と共興小学校をモデル校として取り組み、問題点や課題等を見つけ、将来的には全校に進めて行けるような取り組みを行っていただきたい。

・県のスクールカウンセラーが小学校全校配置となっているので、市のスクールカウンセラーと連携して、児童・生徒の様々な問題の解決やケアに努めていただきたい。また、長く学校に関わってくれているスクールカウンセラーも多く、児童生徒だけでなく、家庭環境や保護者への対応についての経験が豊富であることから、いじめや不登校児童生徒などの対応についても児童生徒、保護者への対応をきめ細かにいき、問題解決に努めるようにしていただきたい。

・GIGAスクール構想によりICT事業が進められているが、一人一台のタブレットの管理や授業に活用していく際には、ICTに精通した教職員ばかりではないため、各学校にICTに精通した職員配置が必要と考える。そのためには、ICT支援員や研修を活用して教職員のスキルアップを図っていただきたい。

給食関係

1 学校給食の実施状況

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与するため、安全・安心で栄養バランスの優れた学校給食の提供に努めた。

使用する食材は、児童・生徒が多く味の体験できるように多彩なものを選んだ上で、食べやすく、噛むことも意識できるように、味つけや調理方法など工夫を凝らした給食を提供した。

市内で生産、加工されている野菜・卵・肉等を食材として優先的に使用し、地産地消・食育の充実に努めた。

学校給食対象者数（令和5年3月現在）

単位：人

幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
50	1,722	930	145	2,847

学校給食実施日数

単位：日

	米飯	パン食	めん食	合計
予定日数	138	35	19	192
実施日数	138	35	19	192
増減	0	0	0	0

2 学校訪問の状況

学校給食センター職員による学校訪問を実施し、園児・児童・生徒の給食時の様子や声を聞きながら、献立内容の充実に努めていたが（2）については中止した。

（1）栄養士が喫食状況の把握及び栄養指導を実施した。

単位：回

幼稚園	小学校	中学校	合計
2	45	1	48

（2）従来、所長、栄養士、調理員が配膳状況の確認や、児童と一緒に給食を食べ、献立や給食について子どもたちの希望や感想などを集約していたが、令和4年度はコロナ禍のため中止した。

単位：回

幼稚園	小学校	中学校	合計
0	0	0	0

（3）栄養教諭が、学校の要請により食育授業を実施した。

単位：回

幼稚園	小学校	中学校	合計
0	3	0	3

3 施設維持管理業務

（1）施設設備保守管理委託業務及び警備委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。

（2）衛生保守管理業務を実施し、食中毒予防対策に努めた。

4 学校給食センター調理業務委託

令和元年度から調理業務を民間事業者へ委託し、業務の一層の効率化を図っている。

現在は、株式会社東洋食品に委託している。

教育委員会の 評価	・地産地消を基本として多彩な食材を選び食育の充実を図った。 ・学校給食センターに関するDVDを作製し、各小中学校、幼稚園等に配布して、給食業務の周知に努めた。 ・コロナ禍により従来のような学校訪問が実施できなかったが、小学校2校において、栄養教諭による食育の授業を実施した。このほか、各学校へ毎月1回の広報紙や掲示物等の配付により情報を発信し、健全な食習慣の育成に努めた。
----------------------	--

有識者の評価	・食材費等の値上がりの中で、地産地消を基本とした栄養バランスを考えた献立で給食の提供に努めていただいていることに感謝する。 ・物価高騰の中で、保護者負担を軽減するために給食費を値上げしないで頑張っていることは評価できるため、引き続き工夫しながらおいしい給食の提供に努めていただきたい。
---------------	---

社会教育関係

1 社会教育団体育成事業

(1) 匝瑳市PTA連絡協議会補助金

地域総合連携による青少年の健全育成と、安全で健やかな心身を育てる環境の整備を目的として、補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、バレーボール大会は中止となったが、教育懇談会では、「児童生徒の安全確保と健康保持について」と「地域で活躍する人材の育成について」をテーマにグループ討議を行い実りある懇談会となった。

(2) 文化会補助金

匝瑳市文化団体協議会への助成を通じ、文化・芸術活動の振興及び市民サークルの育成に努めた。

文化祭は、八日市場文化祭、野栄文化祭、生涯学習祭を開催した。野栄文化会では3月に視察研修を実施した。

成果発表の手段として、例年通り会報誌を発行した。

(3) 子ども会育成事業補助金

21団体 会員数1,034人

子ども会活動の充実を通して、子ども達の健全な成長を図るため、各地区の子ども会行事の研修費、運営費として助成を行い、子ども達の健全育成に努めた。

(4) 八咫少年少女発明クラブ運営補助金

修了生24人

創作活動を通じて、子ども達の科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として補助金を交付した。

発明協会主催の「チャレンジ創造コンテスト」等が中止となり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため活動の制約はあったが、創意工夫して創作活動に取り組み、子ども達の創造性育成に努めた。

(5) ガールスカウト千葉県第98団運営補助金

ボランティア活動等の地域社会に根ざした活動を通して、少女たちの社会性を育てることを目的として補助金を交付した。

少女と女性が自ら考え学び、社会に役立つ行動がとれる人材育成を図った。

(6) ボーイスカウト匝瑳第1団運営補助金

自発的活動を通して、青少年が健康で社会に奉仕し得る能力と人生に役立つ技能を体得し実践できることを目的として補助金を交付した。

各年齢に応じた部門ごとに、年間を通して自然体験・生活体験・社会体験・奉仕活動を展開し、自発的活動を促すことによって、子ども達の心身の健やかな成長が図られた。

2 ふるさと自然散策道管理事業

ふるさと自然散策道の施設・駐車場等の維持管理を行うことにより、市内外からの集客と利便性の向上を図った。

3 フロンティア学寮事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。

※「さふさ委員会」主催の通学合宿（八日市場小、豊栄小、須賀小、吉田小が対象）も同様の理由により中止。

4 二十歳のつどいの開催

令和5年匝瑳市二十歳のつどいを対象者349人（出席者267人：76.5%）で1月8日に行った。

5 文化財保護活用事業

（1）飯高檀林コンサート補助金

国指定重要文化財4棟を含む千葉県指定史跡である飯高檀林跡で質の高いコンサートを開催することにより、芸術文化の振興及び文化財保護の啓発を図ることを目的とする飯高檀林コンサートへ補助金を交付した。

（2）重要文化財飯高寺管理事業補助金

事業主体 宗教法人 飯高寺

国指定重要文化財4棟を含む千葉県指定史跡飯高檀林跡を保全するため、火災報知・消火・避雷設備の保守点検に対する補助を行った。

（3）文化財保存団体補助金

指定文化財の保存・継承・普及活動を担う保存団体に対して、各団体の経済的負担を軽減し、文化財保存・伝承活動を支援した。貴重な文化遺産の保護につながった。

市指定東郷神楽保存会

県指定仁組獅子舞保存会

市指定野手囃子保存会

史跡飯高檀林跡を守る会

国指定木積箕づくり保存事業

市指定九十九里浜地曳大漁歌保存会

（4）文化財保存修理補助金

文化財の保存・修理に対する補助を行った。貴重な文化財の保護につながった。

市指定薬師寺榎保存事業

（5）新たな市指定文化財（3点）

- ・「熊野神社の御正体」
- ・「白山神社の絵馬」
- ・「十二所神社の力石」

（6）檀林大学

国指定重要文化財である飯高寺講堂を中心に、郷土の本物の魅力を再発見する「匝瑳学」を目指し、歴史や自然について学ぶ講義を実施した。

受講生 27人 聴講生 14人 回数 4回 延べ参加者数 90人

6 青少年体験活動推進事業

（1）子ども映画会、人形劇

夏休み子ども工作教室（7月31日）	参加者数	33人
人形劇（11月13日）	参加者数	78人
計		111人

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、子ども映画会を中止し、夏休み子ども工作教室をのさかアリーナにて行った。感染症対策に努め、小見川青少年自然の家の講師を招いた工作教室は、申込が殺到し、子ども達に大変好評であった。

- (2) 自然観察会（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、内容・人数を制限して実施）

第1回目、匠瑤市宮本地区の里山ビオトープ散策を行った。参加者数は40人で好評であった。
第2回目は吉崎浜海岸の生物の観察を行った。参加者数は48人でありこちらも好評であった。

7 青少年健康推進事業

- (1) わんぱくドッジボール大会（11月19日実施 参加者161人）
(2) 市民オリエンテーリング大会（11月3日実施 参加者104人）

8 家庭教育力活性化支援事業

- (1) 家庭教育学級の開設 16学級
幼稚園、小学校及び中学校の保護者を対象に開設した。
(2) 子育て講座の開催
保護者が参加しやすいよう参観日等の学校行事実施日に合わせ、学級生主体の計画により開催した。
また、就学時健康診断を子育てに係る啓発の機会と捉え、就学前後の基本的生活習慣等の子育てに係る助言を行った。

講座名	実施回数
幼児期子育て講座	20回
児童期子育て講座	51回
思春期子育て講座	12回
計	83回

参加者数 2,238人

※ 幼児期子育て講座に保育園等出前講座 1を含む。

- (3) 家庭教育講演会の開催
家庭教育や子育てへの示唆を得る機会として有識者による講演会を開催した。
講師：山本 笑子氏（フェイスUPサロン ハナ-hana-代表）笑顔分析診断士
演題：「『魅せ方』の戦略的活用～もう見た目で損をしない～」
参加者：117人（幼小中学級生のほか、他市行政関係者数名を含む）

社会人としての保護者が見え方、魅せ方に興味をもち、自信をもって子どもの前に立つことの大切さを学び、実践しようとする意欲の高まりを述べた感想が多く、好評であった。例年、5月の合同開級式に合わせて開催してきたが、新型コロナウイルス感染症まん延状況に鑑みて前年に続き10月、会場は八日市場ドームに変更して開催した。今後、運営主体となる役員の習熟と連携に配慮し、引き続き秋開催とする。

9 埋蔵文化財調査事業

不特定遺跡発掘調査事業（大倉台遺跡・豊栄地区）に伴う埋蔵文化財調査として、発掘調査成果の整理作業を行った。

10 生涯学習講座開催事業

(1) 生涯学習センター講座開設事業

講座名	回数	延受講者数	講座名	回数	延受講者数
楽しい絵手紙	7	32	お菓子作り	6	67
おもしろ世界遺産	7	60	ヨガ	7	75
ヒーリング・ピアダンス	7	103	やさしい琴	7	57
健康太極拳	8	185	アロマストレッチと健康体操	8	80
そば打ち	7	54	男のスイーツ道場	2	7
親子休日チャレンジ	13	200	簡単スマホ教室	1	11

講座の参加率は81.7%であった。新型コロナウイルス感染症対策に留意し、受講者が安心して参加できるように努めた。

(2) 野栄寿大学

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった講座もあったが、学習計画に沿って積極的な学習活動を展開した。

会員数 72人

11 匝瑳市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定

子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、①読書に親しむ機会の充実、②読書環境の整備、③普及啓発活動の推進を基本計画とし、令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「匝瑳市子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定した。

新たな具体的な取り組みとして、家読（うちどく）の推進、図書館資料の再利用を加えた。

12 立正大学との包括連携協定の締結

立正大学との包括提携協定による連携事業の一環として、同大学主催「立正大学デリバリーカレッジ」が開催された。

本事業は同大学の教員、教授が「知的刺激と感動を得られる生涯学習」を提供しようと実施しているもので、普段大学で行われている講義を市民が自由に聴講でき、教育・文化の振興及び生涯学習の推進につながった。

教育委員会の
評価

- ・生涯学習講座は、感染症対策を講じて多くの講座を開催することができた。
- ・子ども映画会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となったが、自然体験活動や創作活動は感染対策をしながら実施することができ、多くの子ども達が参加することができた。
- ・家庭教育学級は、例年どおり全16学級で開設した。安全で参加しやすいことに配慮しながら、学級主体の学習計画により実施した。
- ・子どもたちの読書離れが懸念される今日、「匝瑳市子ども読書活動推進計画」の策定は意義あるものであり、実効あるものとするためには、学校と図書館、さらに家庭との連携が不可欠と考える。

社会教育施設関係

1 生涯学習センター管理業務

(1) 生涯学習講座・行事の開催等、市民が生涯学習を楽しむ場として貸館を行った。

前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は伸び悩んでいるが、他施設がワクチン接種会場になったため、一部の利用者が当施設を利用したことから、前年度に比べると利用件数・人数ともに増加している。

開館日数	306	(+72)	※ () 内は対前年度比較	
区分	利用件数		利用人数	
多目的ホール	348	(+156)	5,849	(+2,106)
調理実習室	88	(+13)	956	(+179)
講座室1・2	251	(+94)	2,275	(+619)
研修室	52	(+8)	243	(+52)
会議室	159	(+7)	3,989	(+130)
講座室A・B・C	130	(+14)	2,885	(+244)
資料室	118	(+21)	905	(+56)
1Fロビー	0	(▲2)	0	(▲6)
全館	3	(+3)	80	(+80)
合計	1,149	(+314)	17,182	(+3,460)

(2) 生涯学習センター関連設備の修繕を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

- ・温水ボイラ修繕
- ・遮断弁、コントローラー、中間バルブ交換工事
- ・消防用設備修理

2 福祉センター管理業務

(1) 利用状況

区分	利用件数	利用人数
娯楽室	38	476
研修室	0	0
ボランティア室		
和室	75	536
1階ロビー他	0	0
診察室		
会議室		
合計	113	1,012

(2) 野栄福祉センター関連設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

- ・自動ドア修繕

教育委員会の評価

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、利用者が安心安全に利用できる施設として館内の環境整備に努めた。
- ・各施設について、修繕箇所の把握を行い、設備改修及び修繕等を実施した。引き続き計画的に改修及び修繕等を行い、適正な管理に努めたい。

保健体育関係

1 スポーツ健康推進事業

各種スポーツ教室・大会を開催し、スポーツの普及促進を図るとともに、スポーツ関係団体と連携して、市民の健康・体力づくりに努めた。

(1) 各種教室関係

教室名	回数	延参加者数	教室名	回数	延参加者数
卓球教室	20	224	ラグビースクール	39	778
ジュニアバレーボール教室	44	512	ジュニアサッカー教室	20	108
健康太極拳教室	20	388	エアロビクス教室	19	587
ヨガ教室	20	342	バレーボール教室	23	267
中学生バスケットボール教室	1	45	アイススケート教室	1	24
骨盤体操教室	10	212	パークゴルフ教室	4	42
弓道教室	10	43	バイタルフィット教室	13	85

(2) 大会・行事関係

開催日	大会・行事名	会場	チーム・参加者数
4/3(日) 9(土)	春季少年野球大会	みどり平公園野球場	4チーム・59人
4/17(日)	オーバーフォーティ婦人バレーボール大会	八日市場ドーム	中止
5/22(日)	パークゴルフそうさ公認コース認定記念大会	パークゴルフそうさ	45人
5/29(日)	ふれあい健康ウォーク(春)	富津市	34人
6/19(日)	県民の日記念婦人バレーボール大会	八日市場ドーム	4チーム・59人
6/25(土)	県民の日記念近隣中学校招待ソフトボール大会	八日市場第二中学校	5チーム・69人
6/26(日)	ユニカール大会	のさかアリーナ	中止
7/10(日)	パークゴルフそうさサマーカップ	パークゴルフそうさ	35人
7/31(日)	チャレンジフィッシング	飯岡漁港	中止
8/28(日)	少年少女剣道大会	のさかアリーナ	79チーム・237人
9/25(日)	パークゴルフそうさオータムカップ	パークゴルフそうさ	58人
11/6(日)	ふれあい健康ウォーク(秋)	香取市	25人
11/20(日)	少年少女サッカー交流大会	野手浜総合グラウンド	中止
11/27(日)	市長杯パークゴルフ大会	パークゴルフそうさ	一般の部42人 ファミリーペアの部24人
12/10(土)	東総地区三市交流野球教室	野栄中学校野球場	195人
1/29(日)	パークゴルフそうさウインターカップ	パークゴルフそうさ	75人
2/18(土)	教育長杯タグラグビー大会	八日市場ドーム	中止
2/26(日)	ニュースポーツ大会	八日市場ドーム	ギネスの部53人 カローリングの部32人
3/12(日)	パークゴルフそうさスプリングカップ	パークゴルフそうさ	94人

2 体育関係団体運営補助事業

(1) 匝瑳市スポーツ協会運営費補助金

スポーツ協会が行う各種スポーツ大会等の活動を支援するため補助金を交付した。

事業内容	チーム・参加者数
市民体育大会の開催	1,012人
千葉県民体育大会への選手派遣	89人
東総毎日駅伝大会の開催	廃止
匝瑳市健康マラソン大会の開催	中止
東部五市体育大会への選手派遣	255人

(2) 匝瑳市総合型地域スポーツクラブ補助金

のさかスポーツクラブが開催する各種スポーツ教室・大会等の活動を支援するため補助金を交付した。なお、各種教室等には、延べ2,788人の会員が参加した。

会員数	152人 (中学生以下18人・高校生以上65歳未満38人・65歳以上96人)
教室	ソフトバレーボール・卓球・バドミントン・ピアダンス・ウォーキング・ グラウンドゴルフ・ヨガ・ユニカール
大会	実施：グラウンドゴルフ・卓球 中止：ユニカール・ソフトバレーボール・バドミントン
健康ハイキング	年間4回(5/8、10/11、11/13、3/5)

教育委員会の 評価	・各種スポーツ教室においては、子どもから中高年まで幅広い年齢層の方が自分の好みに応じたスポーツを楽しみ、健全で明るく豊かな生活を送ることに貢献した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら各種大会を開催した。市内外から多数の選手が参加し交流を深めるとともに、大会を盛り上げスポーツ振興に寄与した。
--------------	--

保健体育施設関係

1 市営体育施設の貸出業務及び維持管理業務

(1) 市営グラウンドは八日市場第一中学校の部活動(野球部・テニス部)での利用が多い。

※()内は対前年度比較

	利用日数	利用件数	利用人数
市営野球場(1面)	201(▲11)	210(▲10)	3,345(▲248)
テニスコート(5面)	191(▲32)	205(▲47)	5,056(▲2,088)

(2) 野手浜総合グラウンドは土・日曜日を中心に、サッカーやラグビーでの利用が多い。

※()内は対前年度比較

利用日数	利用件数	利用人数
101(+25)	140(+35)	4,489(+1,224)

2 都市公園球場の貸出業務

両球場も土・日曜日を中心に利用が多く、外野の芝生部分では、グラウンドゴルフにも利用されている。

※（ ）内は対前年度比較

	利用日数	利用件数	利用人数
山桑公園球場	256 (+2)	272 (▲1)	9,731 (▲1,576)
(うち夜間)	—	63 (+3)	2,887 (+1,014)
みどり平球場	335 (▲5)	346 (+1)	6,879 (+336)

3 八日市場ドームの貸出業務及び維持管理業務

(1) 屋内スポーツ活動の拠点として、各種スポーツの普及・拡大と市民の体力向上を図りながら、八日市場ドームの効果的活用に努め、年間48,759人(対前年度比較 +5,649人)の利用があった。

(2) 男子トイレ小便器更新工事

八日市場ドームの男子トイレ小便器は、経年劣化により故障した小便器もあり水洗ができない状態であったため、更新工事を実施した。

開館日数	292 (±0)
------	----------

区分	メインアリーナ	サブアリーナ	選手控室	会議室	楽屋	ジョギング	合 計
件数	657	807	257	52	0	1,544	3,317
人数	34,771	10,185	2,020	239	0	1,544	48,759

4 ふれあいスポーツランドの貸出業務及び維持管理業務

(1) スポーツや文化の各種行事等で、年間58,458人(対前年度比較 +10,382人)の利用があった。

(2) 冷温水ポンプ交換工事

のさかアリーナの冷温水ポンプは経年劣化により故障したため、交換工事を実施した。

開館日数	278 (▲16)
------	-----------

区分	アリーナ	文化ホール	トレーニングルーム	さざんか広場	ジョギング	合 計
件数	463	242	489	439	320	1,953
人数	40,001	4,565	489	13,083	320	58,458

5 パークゴルフそうさの貸出業務及び維持管理業務

市主催の四季大会をオープン参加とし利用者の増加を図り、65歳以上を中心とした12,014人(前年度比較+525人)の利用があった。

屋外スポーツのため、利用は天候に左右されるが、子どもから高齢者まで幅広く楽しめる競技であり、今後各種大会や教室等を開催し、利用者増に努めたい。

開館日数	利用件数	利用人数
339	2,462	12,014

教育委員会の評価	・各体育施設は、市民が気軽にスポーツを楽しむ場として定着しており、各種スポーツの普及・拡大及び市民の体力向上と健康増進を図る機会となっている。 ・各体育施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら各種大会等にも貸出しを行うことで、利用促進を図った。 ・各施設について、経年劣化による設備改修及び修繕等を行った。八日市場ドームの男子トイレ小便器更新工事を実施した。今後は施設毎の劣化状況を把握し、計画的に改修及び修繕等を行い、適正な管理に努めたい。
----------	--

有識者の評価	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となっていたフロンティア学寮事業は、子ども達にとって良い経験となる事業のため、令和5年度は感染症対策を十分に行った上で、実施できるようにしていただきたい。 ・匝瑳市こども読書活動推進計画（第三次）の策定の中で、具体的な取り組みとして家読（うちどく）の推進を掲げているので、実践できるように取り組んでいただきたい。 ・立正大学との包括連携協定による連携事業の一環として開催された「立正大学デリバリーカレッジ」は、2回の開催に幅広い年代の人が聴講し、好評だったので、令和5年度以降も継続していただきたい。
--------	--

図書館関係

1 入館者数及び利用状況

※ () 内は対前年度比較

(1) 時間別入館者数

単位：人

月	八日市場図書館			のさか図書館			
	9時～	17時	合計	9時～	17時	17時～	合計
4	4,136	386	4,522	441		0	441
5	4,259	482	4,741	458		0	458
6	4,514	553	5,067	484		0	484
7	5,526	591	6,117	701		0	701
8	5,152	530	5,682	775		0	775
9	4,165	449	4,614	477		0	477
10	4,846	406	5,252	470		0	470
11	4,705	537	5,242	520		0	520
12	3,889	503	4,392	515		0	515
1	4,220	563	4,783	568		0	568
2	4,103	474	4,577	489		0	489
3	4,348	615	4,963	609		0	609
合計	53,863 (+2,703)	6,089 (+5,071)	59,952 (+7,774)	6,507 (+72)		0 (0)	6,507 (+72)

(2) 図書館利用状況

月	開館 日数	貸出 人数	左の内訳		貸出点数	左の内訳		学習室等 利用人数	左の内訳	
			八日市場 図書館	のさか 図書館		八日市場 図書館	のさか 図書館		八日市場 図書館	のさか 図書館
4	25	3,067	2,800	267	15,652	14,399	1,253	164	148	16
5	26	3,279	3,043	236	16,745	15,690	1,055	255	224	31
6	25	3,288	3,048	240	16,529	15,254	1,275	203	176	27
7	25	3,643	3,314	329	19,199	17,637	1,562	416	375	41
8	25	3,500	3,135	365	17,692	15,905	1,787	408	371	37
9	24	2,986	2,738	248	15,770	14,409	1,361	187	173	14
10	24	3,100	2,842	258	15,617	14,349	1,268	266	255	11
11	25	3,312	3,021	291	16,573	15,157	1,416	432	409	23
12	22	2,639	2,393	246	14,425	13,140	1,285	414	399	15
1	22	3,128	2,886	242	16,016	14,667	1,349	376	359	17
2	18	2,390	2,180	210	12,926	11,825	1,101	270	241	29
3	26	3,237	2,951	286	16,194	14,708	1,486	288	274	14
合計	287 (+1)	37,569 (+306)	34,351 (+624)	3,218 (▲318)	193,338 (▲12,712)	177,140 (▲10,277)	16,198 (▲2,435)	3,679 (+1,421)	3,404 (+1,418)	275 (+3)

(3) 貸出登録者数

24,935人(対前年度比較 ▲164人)

※ のさか図書館の夜間開館は休止した。

2 読書普及促進事業

感染症拡大予防の対策をとりながら、図書館資料の充実と整備を行い、利用者サービスの向上に努め、公共図書館の役割を果たすことに努めた。主催事業の多くを中止したが、利用者へのサービス拡大のため他図書館連携による相互貸出・借入を行った。

学校等との連携活動として、社会科見学や自由読書を受け入れた。テーマに沿った資料を選んで配送する配本サービスを行い、学校等との連携を深めることができた。

(1) 資料の整備等

購入図書等	一般図書	4,756冊
	児童書	1,566冊
	雑誌	132誌
	新聞	15紙
寄贈図書等	一般図書	232冊
	児童書	70冊
	雑誌	6誌

令和5年3月31日現在 蔵書数

蔵書総数	324,261冊 (対前年度比較 +3,908冊)
八日市場図書館	287,998冊 (対前年度比較 +3,972冊)
のさか図書館	36,263冊 (対前年度比較 ▲64冊)

(2) 複写サービス 224枚

(3) 予約・リクエストサービス 7,936冊

(4) 主催事業等

区分	予定していた内容			開催月	延参加者数
子ども向け	おはなし会	八日市場（毎週土曜日）		4月　～　3月	中止
		のさか（毎月第4土曜日）			
	おはなしを楽しむ会（2回）			4月　・　12月	
	読書感想文の 書き方講座	八日市場	低学年・高学年	7月　・　8月	
		のさか			
	図書館たんけん（2回）			8月	
	赤ちゃんと楽しむおはなし会（1回）			10月	
	人形劇を楽しむ会（1回）			3月	
大人向け	歴史ウォーク（1回）			10月	中止

区分	内 容	貸出冊数	延参加者数
学校との連携	社会科見学・校外学習（２回）	—	53
	講師派遣〔講話〕（１回）	—	25
	自由読書・団体貸出（２５回）	1, 8 7 7 冊	607
	※ 来館し自由に本を選び、団体として借りる。		
相互協力	千葉県立東部図書館・県内公共図書館間での相互貸借(毎週水曜日) 貸出 1, 8 0 2 冊 (▲33冊) 借入 5 5 4 冊 (+8冊) 合計 2, 3 5 6 冊		
配本サービス	市内各教育機関等からの申込みにより、希望内容に応じた資料を選書し配本した。 4 0 件 (▲5件) 2, 5 7 3 冊 (+853冊)		

教育委員会の評価	・学習机、閲覧席の利用を新型コロナウイルス感染症予防対策前に戻したこともあり、来館者が増加したが貸出冊数は減少した。今後も利用しやすい図書館づくりと、魅力ある蔵書の整備に努める必要がある。
----------	--

有識者の評価	・学校だけでなく、放課後児童クラブや放課後子ども教室でも図書館から本を毎月借りているので、感謝している。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため読み聞かせ等の事業は中止となったが、令和5年度は、感染症対策を行い、子ども向けの事業を行っていただきたい。
--------	--

公民館関係

1 公民館利用状況

主催事業の充実を図るとともに、利便性に配慮し、サービスの向上に努めた。

月	開館 日数	利用人数	利用件数			
			主催事業	社会教育団体	その他	計
4	26	2,442	0	112	73	185
5	26	2,726	3	119	84	206
6	26	3,208	41	105	83	229
7	27	4,203	44	116	74	234
8	26	1,606	9	84	35	128
9	26	2,609	37	103	62	202
10	26	3,374	32	111	82	225
11	26	2,804	30	105	68	203
12	23	2,295	30	102	52	184
1	23	2,804	28	107	67	202
2	24	4,717	18	104	60	182
3	27	2,661	0	134	70	204
合計	306	35,449 (+6,300)	272 (▲10)	1,302 (+234)	810 (+83)	2,384 (+307)

2 市民ギャラリーの活用促進

感染症対策を講じた上で、幅広いジャンルの作品を発表する場として「市民ギャラリー」の利用促進に努めた。

団体区分	利用 団体数	主 な 内 容	利用 日数	来館者数
主催事業	1	『公民館まつり』における各種作品展示	2	300
社会教育団体	3	書道・美術・写真等作品展示	12	1,050
教育団体	2	中学生・高校生の書道・美術等展示	9	380
一般団体	2	書道・美術・写真等作品展示	9	245
官公署	5	写真・華道・各種作品等展示	27	1,618
合計	13		59	3,593

3 高齢者教室（寿大学）開催事業

高齢者の交流と教養を高める場として、初心者から気軽に楽しめる生きがい講座を13講座開催し、開講式の際には講演会を開催した。また、1月には芸能部門の発表会を開催した。

講 座 名	コース名	回数	開催期間	延受講者数
教養講座	開講式・新春発表会	2	5月・1月	100
生きがい講座	民謡	7	6月～1月	94
〃	舞踊	7	6月～1月	71
〃	健康社交ダンス	7	6月～1月	67
〃	健康麻雀	4	6月～9月	48
〃	健やかストレッチダンス	7	6月～1月	100
〃	アロハピラティス	3	6月～9月	26
〃	詩吟	7	6月～1月	68
〃	カラオケ	6	6月～1月	97
〃	編み物	7	6月～1月	72
〃	書道	7	6月～1月	66
〃	川柳	7	6月～1月	59
〃	俳句	7	6月～1月	67
〃	短歌	7	6月～1月	50
合 計		85		985

4 公民館講座開催事業

アンケート等の要望をもとに36教室を開催し、多くの市民が楽しく参加できるよう講座の充実に努めた。また、ホームページや広報紙のほか、館内ロビー等を活用した情報発信により、受講者数の増加を図った。

教室名	回数	開催期間	延受講者数
太巻き寿司教室（初級）	4	6月～10月	31
太巻き寿司教室（中級）	3	11月～1月	26
楽しむ民謡教室	6	6月～1月	94
匠瑤の文化財を知る教室	3	9月～11月	48
ゆかたの着付け教室	3	7月	17
茶道入門教室	7	6月～1月	51
書道教室	7	6月～1月	62
将棋教室	4	6月～9月	32
楽しいコーラス教室	7	6月～1月	111
琴（初級）教室	7	6月～10月	74
バラ入門教室	4	6月～1月	55
盆栽入門教室	6	5月～1月	47
フラワーアレンジメントの基本教室	7	8月～2月	112
初歩からの陶芸教室	3	6月～9月	34
初歩からの七宝焼教室	7	6月～1月	67
大人のあ～と楽しむ造形ワークショップ 2022	4	6月	32
あ～と楽しむ造形は土曜ワークショップ 2022	1	7月	13
	1		13
ビーズアクセサリ入門教室	3	6月～9月	9
楽しい花結び教室	7	6月～1月	60
楽しい絵手紙教室	7	6月～1月	41
楽しいガラス絵教室	7	6月～1月	65
吉祥花文字教室	7	6月～9月	43
アメリカンフラワー教室	7	6月～1月	68
やさしいパンづくり教室	1	7月	8
	1	10月	5
素材を楽しむ料理教室	4	9月～12月	19
ピアダンス教室	7	10月～1月	25
健康アロマストレッチ教室	7	6月～9月	57
癒しのヨガ教室	7	6月～9月	86
ヨガ健康ストレッチ教室	7	6月～1月	47
ヨガを身近に！はじめてのヨガ教室	1	5月	14
	1	7月	16
	1	11月	18
しめ縄づくり教室	1	12月	29
アロマセラピー教室	3	7月～10月	38
楽しむワイン教室	2	10月	14
干支ひょうたんづくり教室	1	11月	10
はじめてのスマートデバイス教室	1	9月	21
	1	10月	16
	1	12月	14
公民館移動教室	1	7月	14
合 計	170		1,656

5 公民館まつり開催事業

講座受講生とサークル会員が1年間の学習及び活動の成果を発表する「公民館まつり」を2日間にわたり開催し、多くの市民に活動等の内容を周知することができた。

開催日 2月4日（土）～5日（日）

教育委員会の 評価	・感染症対策が徐々に緩和され始め、コロナ前の利用者が戻りつつある。また、3年ぶりに「公民館まつり」を開催することができ、発表に参加した受講生らも今後の学習継続に意欲的な様子であった。 ・引き続き感染症対策には配慮しつつ、今後も市民のニーズに即した講座を企画検討し、幅広い年齢層を意識した主催事業の充実を図ると共に、ホームページ等を使った効果的な情報提供を行い、利用の促進に努める。
----------------------	---

有識者の評価	・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて、新規の公民館講座を複数開設できたことは、大変評価できる。 ・アンケート等を基に幅広い年齢層を意識した講座を企画し、開催できるように努めていただきたい。
---------------	---

匠瑳市教育大綱

この大綱は、「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匠瑳市」を目指し実現するため策定した匠瑳市総合計画前期基本計画の基本目標「個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる」を推進するものです。

【学校教育の充実】

- ・ 他人を思いやる心、すべてのいのちを尊重する心もち、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓く人材を育成します。
- ・ 様々な社会的変化を乗り越え、社会の創り手となる人材を育成するため、学校・家庭・地域が連携しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を図ります。
- ・ 匠瑳で暮らし、育つことが「ふるさと匠瑳」への愛着につながるよう、匠瑳の自然、歴史、文化及び産業の学びを通して地域への理解を深めるとともに、郷土を誇りに思い、大切にする気持ちをはぐくむ教育を推進します。

【生涯学習・生涯スポーツの推進】

- ・ 生涯を通じて、心身ともに健康で心豊かな生活を送れるよう、多様な学習活動やスポーツがいつでもどこでもできる環境づくりを推進します。
- ・ 組織や団体の育成に努め、市民が主体的に活動する生涯学習・生涯スポーツ社会の構築を促進します。

【地域文化の振興】

- ・ 誰もが文化や芸術を身近で味わい、豊かでうるおいのある暮らしを実感するため、各種団体による活動への支援や、優れた芸術文化に接する機会の提供を図ります。
- ・ 地域の歴史と風土に根ざした文化資源を地域文化の振興に活用しつつ後世に伝えていくため、各種団体と連携しながら有形・無形の貴重な歴史文化遺産の保護に努めます。

大綱の期間

令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

令和2年1月17日

匠瑳市長 太田安規

匝瑳市教育委員会委員名簿

職 名	氏 名
教 育 長	二 村 好 美
教育長職務代理者	有 田 光
委 員	小 作 広 子
委 員	及 川 順 央
委 員	大 木 睦 子

(令和5年4月1日現在)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第26条)の規定により、教育委員会は、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

匝瑳市教育委員会では、令和4年度における事務の管理及び執行の状況について、学識経験者から意見をいただきながら、点検及び評価を実施し、その結果をまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検及び評価有識者会議委員名簿

石 井 秀 光
寺 嶋 清 一
矢 澤 敏 和
鈴 木 敦